

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について
〔2013 年 4-6 月期〕

公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〔調査結果の概要〕

業況は、期待先行による改善が一服し、足踏み状態になっているが、来期への期待感は強い。

- 2013 年 4-6 月期の景況判断を「悪化」とした企業は 28%で前回調査（2013 年 1-3 月期 29%）より 1 ポイント改善しているが、「好転」とした企業は 6%で前回調査（9%）より 3 ポイント悪化している。景況判断 DI は▲22 となり、前回調査（▲20）より 2 ポイント減と 2011 年 1-6 月期以来 2 年ぶりに悪化している。

以下、その他業況感 DI の内訳

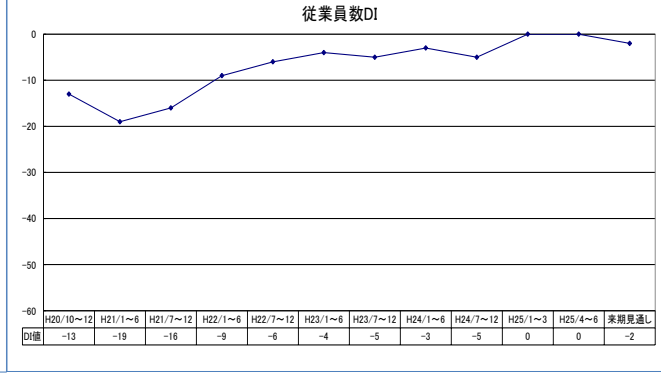
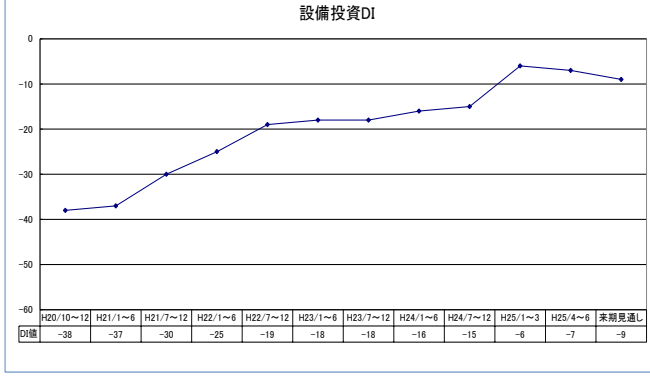
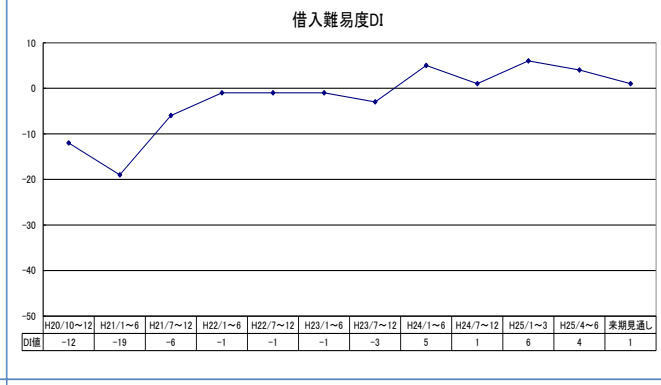
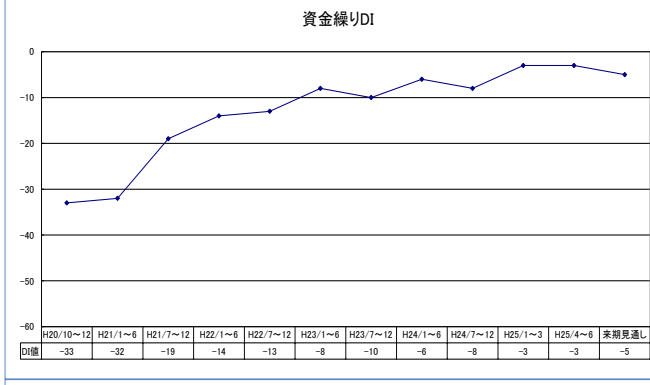
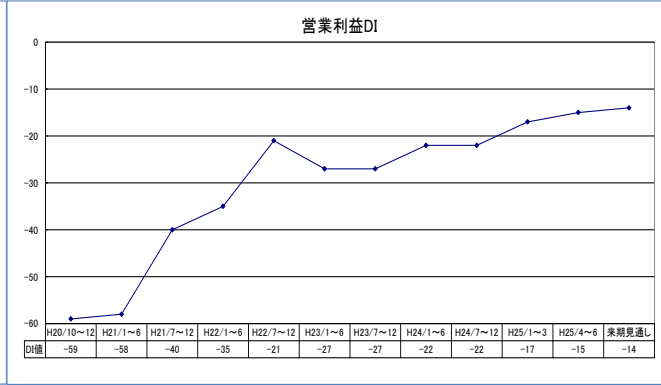
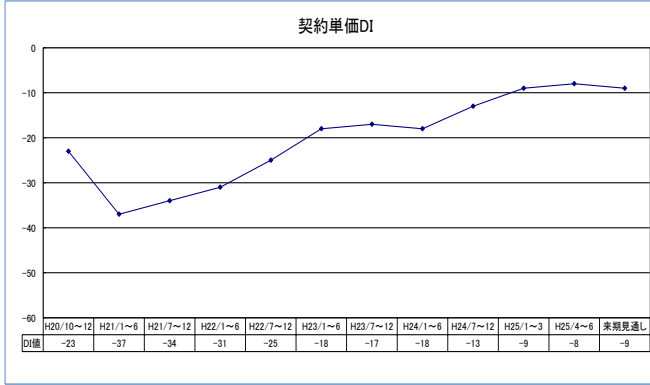
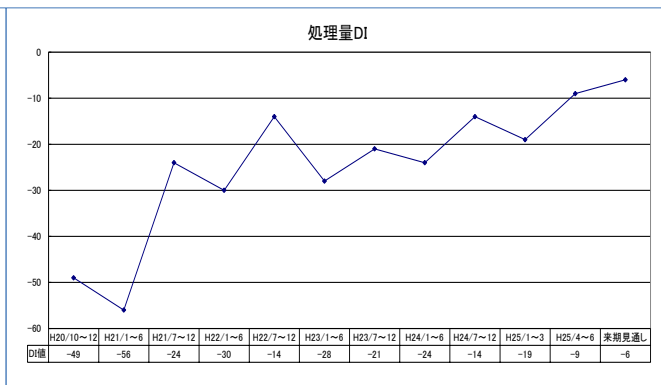
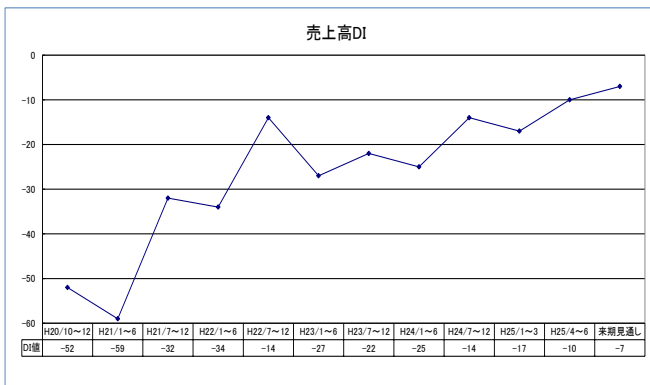
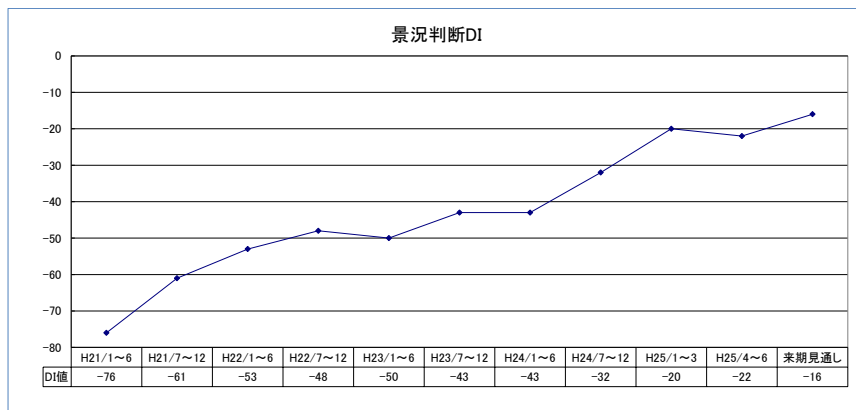
- ・ 売上高 DI は▲10 で、2013 年 1-3 月期から 7 ポイント改善
 - ・ 処理量 DI は▲9 で、2013 年 1-3 月期から 10 ポイント改善
 - ・ 契約単価 DI は▲8 で、2013 年 1-3 月期から 1 ポイント改善
 - ・ 営業利益 DI は▲15 で、2013 年 1-3 月期から 2 ポイント改善
 - ・ 資金繰り DI は▲3 で、2013 年 1-3 月期と同水準
 - ・ 借入難易度 DI は 4 で、2013 年 1-3 月期から 2 ポイント悪化
 - ・ 設備投資 DI は▲7 で、2013 年 1-3 月期から 1 ポイント悪化
 - ・ 従業員数 DI は 0 で、2013 年 1-3 月期と同水準
- 今後の景況感 DI の見通しは、景況判断 DI で▲16 となり、来期への期待感が強く、改善が見込まれている。
 - 売上高の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 6.7%増となった。
 - 処理量の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 6.0%増となった。
 - 経常利益率については、平均値が 5.19%（前回調査 5.16%）となった。回答割合は「5%未満」37.3%、「5-10%未満」17.6%、「10%以上」14.9%となった。
 - 経営上の問題点については、1 位「同業者相互の価格競争の激化」、2 位「需要の停滞」、3 位「人件費以外の費用増加」、4 位「顧客先からの値下げ要請」となった。「人件費以外の費用増加」（前々回 9.3%、前回 11.5%、今回 13.7%）、「従業員の不足」（前々回 3.0%、前回 3.9%、今回 5.3%）は 3 期連続で上昇している。

※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

〔調査の要領〕

- 調査の対象：2008 年 10-12 月期で回答のあった全国の協会会員企業
- 調査の方法：郵送によるアンケート
- 調査期間：平成 25 年 7 月 19 日～8 月 30 日
- 回答企業数：445 社



【地域別レーダーチャート】

